

大会における感染防止対策

岡山県小学生バレーボール連盟

『主催者、参加者、全員協力して大会を成功させよう！』

《主催者》

1 消毒剤等の準備

- ① 会場内で使用する、手指消毒用のアルコール・除菌シートなど消毒用品を準備する。
- ② 会場内のドアノブ、テーブル、イス、手すり等、参加者が触れると考えられる箇所の消毒をする。(入館前、および適宜)
- ③ 記録席に消毒用品を常備する。(審判に使用した箇所、備品の消毒などのため)

2 換気の悪い密閉空間とならない環境作り

- ① 使用会場の指示に従い、プレーに支障がない限り、換気扇を常に回す、窓及びカーテンは開けておくなど開催中の換気に努める。
- ② 更衣室の使用にあたっては、一度に大勢が入室することがないように、密集回避を促す。

3 参加者の制限

- ① 入場は役員、大会関係者、ベンチ入り選手、ベンチスタッフ、帯同審判員、応援者に制限する。
- ② 参加者名簿、個別健康調査票の提出を義務付ける。
- ③ 入場者(選手以外)には名札(チーム名と名前を記入)を常時身につけさせる。

4 当日の運営

- ① コート設営終了後、速やかに器具等消毒をする。
- ② タイムテーブル、入館可能時刻に従いチームを入場させ、会場内の密を避ける。
- ③ 受付時の対応
 - ・参加者が距離を置いて並べるよう配慮する。
 - ・各チームがあらかじめ用意した参加者名簿と個別健康調査票を受理する。
 - ・再入場時には名前(名札)をチェックする。入り口には常時、担当者を配置する。
- ④ 試合前後の挨拶
 - ・エンドライン後方に密にならないよう整列し、その場で挨拶をする。
- ⑤ 応援席等の管理
 - ・応援席が密にならないようあらかじめ観客席の数を減らす。(座れない席の表示)
 - ・定期的に会場内を巡回して、感染防止対策がきちんととられているか確認する。
(3密、マスク着用、応援の仕方、手指消毒実施など)
- ⑥ 密にならないベンチ設営等
 - ・ベンチのイスの間隔は1メートル以上とする。
ベンチのイスは3脚とし、控え選手はウォームアップエリアで待機する。水筒、タオル、マスク、消毒用品などを入れた袋またはカゴを選手が個別に用意し、ウォームアップエリア内に置く。
- ⑦ 審判は電子ホイッスルを使用する。

《参加者》

1 大会当日は、タイムテーブル及び役員の指示により受付・入館する。

①参加者名簿と個別健康調査票を提出

- ・両方の記入のない方は入館出来ません。
- ・チームで体温計を準備し、到着時に体温を測定、入館時体温を記入する。

②入館時、チームで消毒してから入館する。

③入館者の確認をするために、参加者名簿の順に並び入館する。

2 マスク、名札の着用を徹底する。

①プレー以外の場面ではマスクを着用する。

②チーム名と名前を記入した名札を作成し、入館時から常時身につける。(選手以外)

3 チーム内で感染防止のための行動について確認し、遵守する。

①チーム並びに個人で消毒用品を準備し、

入館時、再入場時の消毒

こまめな手洗い、手指の消毒

更衣室、トイレなど使用した箇所の消毒

応援に使用した箇所の手すり、椅子などの消毒

使用した待機場所の消毒(退館時)

試合前後・補助員終了時の選手の手指の消毒

を行う。

②指定された待機場所を使用する。密集・密接を避け、大きな声での会話・飲食など感染リスクの高い行動はしない。

③応援は、応援者同士距離を取り、声を出しての応援はしないこと。(鳴り物は禁止)

4 ベンチスタッフの感染防止対策

①大きな声で指導しない。

②タイムアウトやセット間、試合前後のミーティングも、身体的な距離を保つ。

③セット終了後、ベンチのイスを消毒する。

④審判・補助員終了後審判台、得点版の椅子、記録席、フラッグの消毒をする。

⑤監督、キャプテン、記録を担当する選手は自分の筆記用具を使用する。

⑥審判用の電子ホイッスルを用意できるチームは持参する。

7 感染防止策の遵守

①主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。

②大会中、体調が悪くなった者は直ちに帰宅する。

③大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、主催者(県小連総務委員長)に速やかに報告する。